



上関町の推進構想

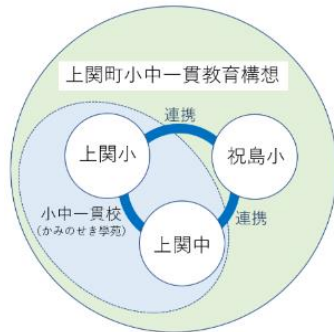
1 地域連携教育の「成果」と「課題」

【学校教育】

地域・児童・生徒を交えて小中一貫教育のグランドデザインを作成したり、学校・地域連携カリキュラムの見直しを行ったりした。今後は、PDCAサイクルをまわし、いかにカリキュラム・マネジメントをしていくかが課題である。

【社会教育】

地域協育ネット運営協議会が中心となり、新たな地域主体の体験活動として「つり体験活動」を行った。一方で、地域協育ネットに関わる人材の発掘・育成や地域協育ネットの仕組みの周知が課題である。



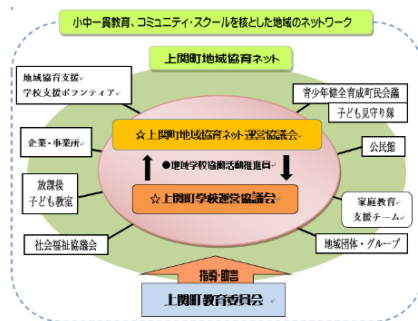
2 「課題」解決に向けた重点取組事項

【学校教育】

- 学校・地域連携カリキュラムを有効に機能させ、進行状況を継続的に評価・検証しながら教育課程の改善をはかる。
- 総合的な学習の時間を柱に、学年ごとの単元配列表を作成し、教科横断的で探究的な学びの実現をめざす。

【社会教育】

- 地域の行事やイベントへの子どもや保護者の参加を促進する。
- 地域教育支援・学校支援ボランティアへの登録を促進する。



3 重点取組事項の進捗を測る指標

【学校教育】

- 小中一貫教育の理念や目標、育成したい資質・能力を日々の教育活動にどう反映したかを調査する。
- 学校・地域連携カリキュラムの評価・改善を全教職員が行ったかを調査する。
- 総合的な学習の時間の充実を図るとともに、学年ごとの単元配列表を作成したかどうかを調査する。

【社会教育】

- 体験活動に参加した地域の方や保護者の人数を記録する。
- 地域協育支援・学校支援ボランティアの登録者数を前年度と比較する。

活動取組

上関町立上関小学校・上関中学校

学校・地域連携カリキュラムの充実に向けた熟議



小中学生・教職員・地域の方が一緒になって、育成したい資質や能力を意識した活動を話し合った。

上関町立上関小学校・上関中学校

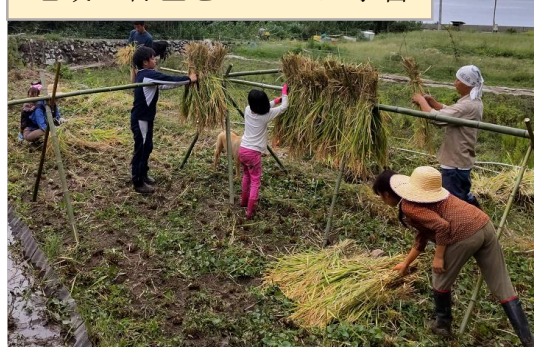
熟議により決定した地域貢献の取組



熟議で出た意見の中から、すぐに実行できる取組として、海岸清掃を小中学生と地域とで実施した。

上関町立祝島小学校

地域の特色を生かした学習



田植え・稲刈り・脱穀・しめ縄作り・もちつきと年間を通して稲作体験活動を地域の方と行った。

地域協育ネット

地域主体の体験活動



地域協育ネット運営協議会が主体となり、地域資源を生かした体験活動として「つり体験」を行った。